

指扇小だより

教育目標 **やり抜く子の育成**

かしこく やさしく たくましく あたたかく

2月号 令和5年2月1日 第10号

さいたま市立指扇小学校

〒331-0078

さいたま市西区西大宮1丁目49-6

電話 048-623-0133 FAX048-624-2200

【児童数】男子429名女子443名計872名

成長を感じ取る ～学びの足跡から～

校長 引間 陽子

つい先日、寒の内の厳寒に見舞われ、朝から体が縮こまりそうになる我が身でしたが、通勤の道すがら、原風景のような雪化粧の富士山の勇姿を見つけ思わず凜と背筋を伸ばしました。さらに、水たまりが凍った校庭では「氷だ！氷だ！」と元気よく登校する子らの様子にエネルギーをもらって私も笑顔になりました。

1月も行事を通して子どもたちの言葉や作品の中に学びの成果が光りました。

23日から実施した給食週間で取り組んだ給食標語は「楽しみだ 今日の献立 なんだろう」「給食をもりもり食べて フルパワー」「すききらい 克服すればいい気持ち」「今すぐに 五大栄養素 取りたいな」といった子どもらしい作品が多く、給食を楽しみにしている素直な気持ちが表現されていると温かい気持ちになりました。

26日から開催されたさいたま市西区特別支援教育作品展では、あおぞら学級の子どもの作品が展示されました。一人ひとりが力いっぱい作り上げた作品は、創意工夫のあるカラフルな版画作品や今にも動き出しそうな動物を作り上げた木工の作品が飾られ、学びの成果が存分に発揮された展示となりました。



令和4年度 西区特別支援教育作品展
～馬宮コミュニティセンターにて～

1年間のまとめの時期になり、随所で子どもたちの成長を感じます。掲示された絵画作品一つとっても子どもたちのピュアな思いが詰まっていて、心を驚掴みされます。成長は目に見えにくく簡単に測ることは難しいものですが、子どもたちの成長をアンテナ高く感じ取り、価値付けてあげたいと考えます。「成長とは？」の自問自答に思いを巡らし、以前の研修会で紹介された言葉を思い出しました。

成長には、いろいろある。

- ・成長とは、より大きな仕事を任せてもらえた時に気づくもの。
- ・成長とは、努力をしている時に、後から自然についてくるもの。
- ・成長とは、自分の存在意識が実感できること。
- ・成長とは、物事を見る観点が增えること。
- ・成長とは、次のステージへ進むための入場券。
- ・成長とは、プレッシャーを楽しめるようになること。
- ・成長とは、限界の壁が外に行き、自信の空間が広がること。

力強い学びの足跡「書初め」



また、森下典子さんの著書『日日是好日』には、こう記されていました。「この世には、学校で習ったものとはまったく別の勉強がある。(中略)それは、教えられた答えを出すことでも、優劣を競争することでもなく、自分で一つ一つ気づきながら、答えをつかみとることだ。自分の方法であるがままの自分の成長の道を作ることだ。気づくこと。一生涯、自分の成長に気づき続けること。「学び」とは、そうやって、自分を育てることなのだ。」大人の私も漏れなく成長し続けたいと常々思います。保護者の皆様、地域の皆様、今月もよろしくお願ひいたします。